

米海軍ヘリコプターの不時着について（要請）

2013年12月16日、三浦市三崎に厚木基地を拠点とする第5空母航空団所属のMH-60Sヘリコプターが不時着しました。

地元住民への被害はなかったものの、米軍搭乗員2名は負傷し、物的被害も生じており、こうした事態の発生に市民は強い不安を抱いています。

厚木基地周辺では、2011年に平塚市にヘリコプターが緊急着陸しているほか、町田市においては、1964年4月5日に市内に米軍機が墜落し、死者4名・重軽傷者32名を出す大惨事が発生しており、市民は今もなお、航空機事故に対して、強い不安・懸念を抱いています。

当市では、これまでも、事故が発生する都度、飛行の安全対策の確立や整備点検の徹底を繰り返し要請してきました。今回、再びこうした事故が生じたことは、米軍機の安全管理等に対する不信感を市民に与えるものであり、極めて遺憾であります。

貴職におかれては、今後、二度と米軍機の事故が起こることのないよう、次のことについて、（米軍に申し入れるよう）改めて強く要請します。

※（ ）内は、日本側への要請に挿入

- 1 今回の不時着に関し、早急に原因を究明し、その調査結果を速やかに、報告もしくは公表すること。
- 2 航空機の整備点検などを確実に実施して、徹底した安全管理を行い、事故の再発防止に努めること。

2013年12月17日

在日米海軍司令官	テリー・B・クラフト少将	}	殿
厚木航空施設司令官	スティーヴン・J・ウィーマン大佐		
外務大臣	岸田文雄		
防衛大臣	小野寺五典		

町田市長 石坂 丈一